

# 「新之助」生育速報 No. 3

平成28年6月21日  
村上農業普及指導センター

## 1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（6月20日現在）

### 生育概況

**草丈：並 茎数：多い 葉数：進んでいる 葉色：濃い**

- 生育は、順調に推移している。
- 葉令の進みもあり、茎数は多くなっている。
- 葉色は濃いですが、過去2年並程度となっている。

○新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果（6月20日現在）

調査場所	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
関川村下関（関川）	5月18日	34	472	9.2	41.9
村上市牛屋（神林）	5月16日	38	475	9.5	40.2
村上市十川（朝日）	5月16日	34	501	9.6	42.0
平均	5月17日	35	483	9.4	41.4
指標値（暫定）	5月15日	35	410	8.7	37.0
【参考：十川（H26、27平均値）】	5月13日	35	345	9.4	41.1

※ 調査場所は、普及センターで設置のほ場

## 2 今後の技術対策

### 当面の管理のポイント

#### ◎中干し・溝切り後の管理

- ・中干しは、**田面に小ヒビが入る程度**とし、うわ根発生促進のため、出穂の1か月前には終わらせる。  
※ 村上地域の過去2年間では、新之助の出穂期はコシヒカリより1週間程度遅れています。
- ・中干し終了後は間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。

#### ◎いもち病対策

- ・箱処理剤の効果は時間の経過とともに弱くなるので、常発地では水面施用剤の散布等の予防対策を行う。
- ・いもち病に対しては、常にほ場をよく観察し、発病を認めた場合には、直ちに防除する。

#### ◎カメムシ対策

- ・カメムシ類の住み処をなくため、農道・畦畔の定期的な草刈りと本田内のヒエやホタルイなどの雑草を取りこぼさない。